

施策評価シート

1 基本情報

他課においても同一施策で事業を実施しています。3/4

年度	23	取り組み事項	情報発信力を強化する		担当部課名
	まちづくり目標	まちづくり目標推進のために		企画管理部税務課	
	施策名(大)	まちづくり目標推進のために		担当部長	吉岡 秀記
	施策名(中)	情報提供の充実を図る		担当課長	山本 勝義
	目的	広報あいおいなどにおいて、行政に関する情報をわかりやすく、積極的に発信するとともに、大量の情報を迅速に提供できるホームページについて、誰もがわかりやすく利用できる状態を目指します。 また、市政への理解を深めるため、出前講座などの充実を図ります。			

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標	
		21年度	22年度	23年度	27年度	32年度
地価公示閲覧者数	人	0	0	0	10	10

★がつけられている指標は、基本計画に記載している「めざそう値」となります。

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)
事業費	円	0	0	0	0
人件費	円	214,370	220,401	323,279	349,470
合計	円	214,370	220,401	323,279	349,470

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	○ ◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない	窓口での閲覧者数はゼロで推移しているが、ホームページによる閲覧者も相当数いると思われる。
②社会情勢の反映・有効性	◎ ◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない	地価公示法第7条第2項の規定に即し、一般の閲覧に供し得る状態である。
③構成事務事業の妥当性	◎ ◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある	法律で市による実施が義務化されている法定受託事務であり、現状で妥当である。
④業務方法の効率性	◎ ◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である	現行の実施手法で妥当である。
⑤施策の総合評価	A A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	今後も継続する。

【成果】

窓口だけでなくホームページでの閲覧を行える環境を整備している。

5 施策の推進に向けた今後の対応

第三者評価委員会意見	情報発信力を強化するためには住民ニーズの多様性にも対応できるようにするべきで、市としてのアピールポイントの明確化も重要である。 今後は市のアピールポイントを大きくPRでき、住民の満足度が上昇するよう進めて頂きたい。	既存事務事業及び新規事業の方向性	市ホームページに地価公示価格等に関する情報の充実を図る
------------	--	------------------	-----------------------------

6 構成事務事業

NO	事務事業名	指標名 (単位)			投入資源(円)		妥当性	進捗
					事業費	人件費		
		22年度実績	23年度実績	24年度目標	22年度	23年度		
		事業開始年度			24年度	24年度		
1	地価公示閲覧事業	閲覧者数		人	0	220,401		4
					0	323,279		
					0	349,470		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								